

graft 機能の仕組みを理解する

レポートタグで
様々なコンバージョンアクションやイベントの数値を
出力可能にします



graft 機能とは

1つの表の中に「基本指標」と「特定のアクション数」とを並べて出すことができます。

日付	アカウント	キャンペーン	表示回数	クリック数	ご利用金額	購入	購入金額
2025-03-26	ATARA_Google	Campaign_A	24	12	91	2	1000
2025-03-27	ATARA_Google	Campaign_B	140	45	4021	7	3500
2025-03-26	ATARA_Yahoo	Campaign_C	243	19	532	5	2000

アクションとは

アクションとは、
コンバージョン アクションやイベントなどの成果地点を指します。

- **Google 広告や LINEヤフー広告**

コンバージョン アクション

例) お問い合わせ、資料請求、応募

- **Meta 広告**

標準イベント、エンゲージメント、カスタムコンバージョン

例) いいね、投稿へのコメント、購入、カートへの追加

【ヘルプサイト】 [Meta 広告の指標（アクション別）](#)

アクション名

アクション名は glu 管理画面上で確認可能です。※ スケジュール設定で各種アクション別レポートを取得しておきます

The screenshot shows the glu management interface with the following details:

- Header:** glu logo, ROOT(root), メッセージ, ログアウト, ヘルプ
- Navigation:** プロパティ, アイテム, 標準レポート (selected), 解析ツールレポート, 解析ツールログ, 日誌, タスク, 設定
- Buttons:** 条件詳細を閉じる, エクスポート, レポートタグエディタ
- Filters:**
 - データの見た方:** 視点: アクション別, 系列: (なし), 分割: (なし)
 - データの絞り込み:** ネットワーク: Facebook広告, デバイス: c: デスクトップPC, m: スマートフォン, t: タブレット, o: その他
 - 表形式:** 集計行: 最初, 繰返列: (すべて), 系列の表示位置: 非表示, 分割の表示位置: 非表示, 枠固定: (自動)
 - 設計:** 日別可能: すべて, データ要素: (自動), 条件保存: 保存しない, 上書き保存, 新規保存
- Table Settings:** 定義済み条件: [日別], 期間: 先月 | 2026-02-01 | 2026-02-28, チャート表示
- Table:** 1件目 - 50件目 / 全103件 | 1 | 2 | 3
- Table Columns:** アクション別, メディア, ご利用金額, ご利用金額(Fee込), CV (のべ), CPA (のべ), CV (ユニーク), CPA (ユニーク), CV数 (ビュースル…), 売上 (メディア), CV数(…)
- Table Rows (Action Names):** landing_page_view, lead, like, link_click, mobile_app_install, offsite_complete_registration_add_meta_leads, offsite_contact_website_add_meta_leads, offsite_content_view_add_meta_leads, offsite_conversion.fb_pixel_add_payment_info, offsite_conversion.fb_pixel_add_to_cart, offsite_conversion.fb_pixel_add_to_wishlist, offsite_conversion.fb_pixel_complete_registration, offsite_conversion.fb_pixel_custom

glu 4.7.5.3A Copyright © ATARA Corp. and TEHCNOPLUS Corp. All Rights Reserved.

スケジュール設定

・レポート種別：キャンペーン別

基本指標（表示回数、クリック数、ご利用金額など）を取得

→ 「標準レポート」のテーブルへ保存

日付	アカウント	キャンペーン	表示回数	クリック数	ご利用金額	コンバージョン	コンバージョン値
2025-03-26	ATARA_Google	Campaign_A	24	12	91	45	15000
2025-03-27	ATARA_Google	Campaign_B	140	45	4021	32	12500
2025-03-26	ATARA_Yahoo	Campaign_C	243	19	532	27	10000

※ Google 広告や LINEヤフー広告に表示されるコンバージョン数値は複数のアクションの合計です。

スケジュール設定

・レポート種別：キャンペーンアクション別

コンバージョン アクションやイベントごとの数値を取得

→ 「**アクションレポート**」のテーブルへ保存

日付	アカウント	キャンペーン	アクション名	コンバージョン	コンバージョン値
2025-03-26	ATARA_Google	Campaign_A	カートに追加	26	13000
2025-03-27	ATARA_Google	Campaign_B	購入	7	3500
2025-03-26	ATARA_Yahoo	Campaign_C	カートに追加	19	9500

※ 表示回数、クリック数無し

graft 機能を使用したレポート出力

レポートタグで graft 機能を使用すると

「標準レポート」のテーブルへ「アクションレポート」の情報をつなぐことが可能になります。

例)

```
INCLUDE_FORMULA=graft:action_reports
```

```
DYNAMIC_ATTR[cv01]=decimal,0,"SUM(RX.cv01)",",","SUM(RX.met_conv_t * (MX.data = '購入'))"
```

```
DYNAMIC_ATTR[revenue01]=decimal,0,"SUM(RX.revenue01)",",","SUM(RX.met_revenue_t * (MX.data = '購入'))"
```

【ヘルプサイト】 [graft 機能（メディアのアクション）](#)

graft 機能を使用したレポート出力

graft 機能により、

1つの表の中に「基本指標」と「特定のアクション数」と両方の数値を出すことができます。

日付	アカウント	キャンペーン	表示回数	クリック数	ご利用金額	購入	購入金額
2025-03-26	ATARA_Google	Campaign_A	24	12	91	2	1000
2025-03-27	ATARA_Google	Campaign_B	140	45	4021	7	3500
2025-03-26	ATARA_Yahoo	Campaign_C	243	19	532	5	2000

graft 機能を使用したレポート出力

- ・ ATTR_ORDERS、TEXT_BODY での項目指定 (Excel 形式以外のレポートテンプレート)

DYNAMIC_ATTR の後ろのカッコ内の文字列を使用します。

例)

```
INCLUDE_FORMULA=graft:action_reports
```

```
DYNAMIC_ATTR[cv01]=decimal,0,"SUM(RX.cv01)",",","SUM(RX.met_conv_t * (MX.data = '購入'))"
```

```
DYNAMIC_ATTR[revenue01]=decimal,0,"SUM(RX.revenue01)",",","SUM(RX.met_revenue_t * (MX.data = '購入'))"
```

- ・ ATTR_ORDERS (Google スプレッドシート、CSV への出力)

```
ATTR_ORDERS=report_date:0,@0,@1,report_imps:0,report_clicks:0,report_cost:0,cv01:0,revenue01:0
```

- ・ TEXT_BODY (BigQuery への出力)

```
{t @data[:bq_report_date]},#{t @data[0]},#{t @data[1]},#{t @data[:report_imps]},#{t @data[:report_clicks]},#{t @data[:report_cost]},#{t @data[:cv01]},#{t @data[:revenue01]}
```

graft 機能を使用したレポート出力

- ・ITEMS での項目指定（Excel 形式のレポートテンプレート）

DYNAMIC_ATTR は動的に項目を追加するため ITEMS には本来の出力項目より項目数が追加されます。

まずは、出力項目の最後の番号を確認します。

例として 200 番ならば ITEMS に 201 以降の番号を記載すると DYNAMIC_ATTR の値が出ます。

DYNAMIC_ATTR が 2 行あるときは 201、202 と順に 2 つの番号を記載します。

例)

```
INCLUDE_FORMULA=graft:action_reports
```

```
DYNAMIC_ATTR[cv01]=decimal,0,"SUM(RX.cv01)",",","SUM(RX.met_conv_t * (MX.data ='購入'))"
```

```
DYNAMIC_ATTR[revenue01]=decimal,0,"SUM(RX.revenue01)",",","SUM(RX.met_revenue_t * (MX.data ='購入'))"
```

```
ITEMS=1,2,7,8,12,201,202
```

※ 「出力項目」の最後の番号は視点によって変わります。次のページに詳細を記載します。

graft 機能を使用したレポート出力

DYNAMIC_ATTR は動的に項目を追加する役割をします。

ITEMS には DYNAMIC_ATTR の数を追加して記載します。

出力項目の最後が 200 番ならば、ITEMS に 201 以降の番号を記載すると DYNAMIC_ATTR の値が出ます。

下記は DYNAMIC_ATTR が 2 行あるときの記述例です。201、202 と順に 2 つの番号を記載しておきます。

```
ITEMS=1,2,7,8,12,201,202
```

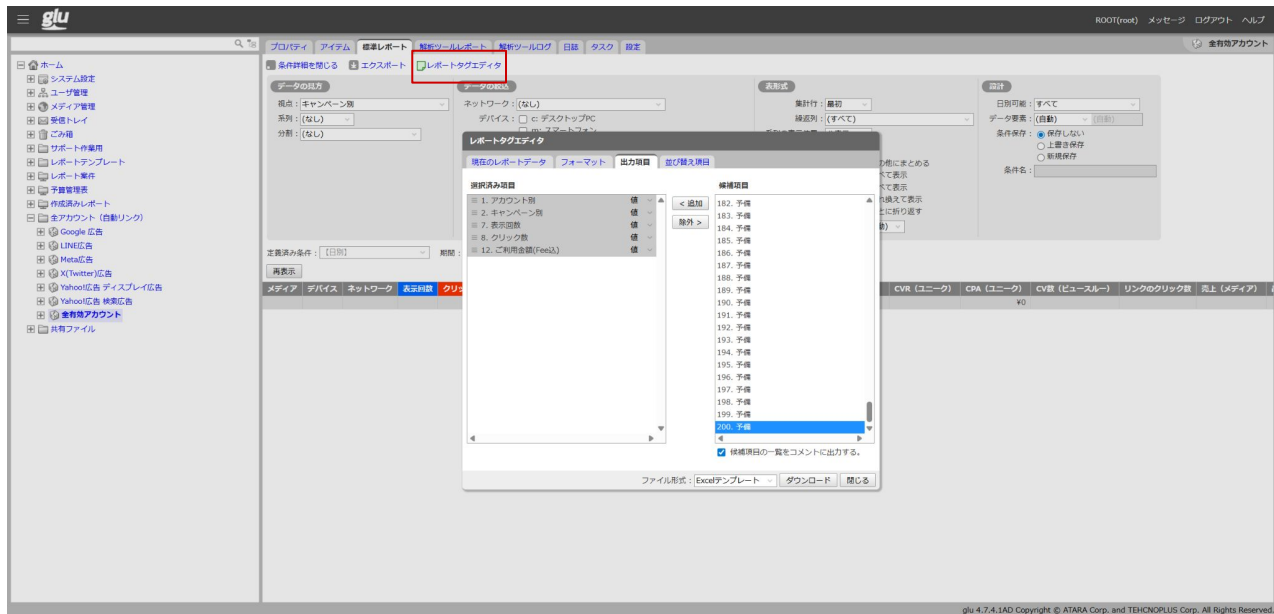
※ 「出力項目」の最後の番号は視点によって変わります。次のページに詳細を記載します。

【ヘルプサイト】 [レポートタグエディタ](#)

graft 機能を使用したレポート出力

視点ごとの出力項目数は、glu 管理画面のレポートタグエディタで確認可能です。

視点を合わせて再表示後にレポートタグエディタの「出力項目」一番下にある項目の番号を確認します。



【ヘルプサイト】 [レポートタグエディタ](#)

graft 機能を使用したレポート出力

レポートタグのイメージです (Excel 形式)

```
GROUP=report_group_default
START_AT=from,month,0,1
END_AT=from,month,0,-1
ASPECT=report_aspect_campaigns
SERIES=report_series_daily
SEGMENT=report_segment_none
DAILY_LEVEL=
FROM_LEVEL=
ANTE_FILTER=report_ante_filter_none
MEDI_FILTER=report_medi_filter_none
POST_FILTER=report_post_filter_none
TYPE=table
DATA=report
EDIT=paste
SHIFT=down
HEADER=true
FLAT=true
CELL=
SORTS=
ITEMS=3,1,2,7,8,12,201,202
INCLUDE_FORMULA=graft:action_reports
DYNAMIC_ATTR[cv01]=decimal,0,"SUM(RX.cv01)","", "SUM(RX.met_conv_t * (MX.data = '購入'))"
DYNAMIC_ATTR[revenue01]=decimal,0,"SUM(RX.revenue01)","", "SUM(RX.met_revenue_t * (MX.data = '購入'))"
```



ATARA